

令和 8 年度 （日本史研究） シラバス

教 科	地理・歴史	科 目	日本史研究		
単 位 数	2	学 年	3	類 型	文系
教 科 書	詳説 日本史（山川出版社）		副教材	図説 新詳日本史（浜島書店）	
学習目標	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期		
2 学期	第Ⅳ部 近代・現代 (大正以降現代まで)	日清・日露戦争の勝利を経て、日本は帝国主義国家の道を歩んだが、第二次世界大戦に敗れたことを国際政治の流れの中に位置づけて理解する。また、戦後の復興から高度経済成長を経て、屈指の経済大国となった日本としての、今後の国際貢献や国家のあり方について考察する。
3 学期	歴史資料の研究 現代日本の課題の探究 発展的な学習	歴史資料や現代日本の課題の探究を通して、資料を活用・分析する技術や思考力を高めるとともに、2年間で学習したことを振り返り、さらに理解を深める。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	歴史的諸事象に関して、世界と日本という相互的視野から、理解しているとともに、人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、図像などを活用し、課題を追究したり、解決したりできる。	考査 確認テスト
思考・判断・表現	東アジアの情勢の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、歴史的諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現することができる。	考査 確認テスト プレゼンの内容
主体的に学習に取り組む態度	歴史的な諸課題について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	授業態度 授業中の提出課題 振り返りシート